

朝日 2015 12 16

# 男性向け施策が分散 年内にも閣議決定

A5Z16

## 政府の第4次男女共同参画基本計画案

### 男性の働き方 変えられる?

男女ともに生きやすい社会をめざす政府の第4次男女共同参画基本計画が、年内にも閣議決定される。3日に示された案では、長時間労働など男性中心の働き方の見直しを打ち出しているが、「全体を通して男性向けの視点が薄まっている」との見方もある。改革は進むのだろうか。

さいたま市に住む会社員の富田昇平さん(38)は妻(38)と長女(4)との3人暮らし。東京都心の職場まで1時間はかけて通勤する。

部下2人のいる課長だが、遅くても午後5時半には職場を出る。共働きで、富田さんが主に保育園のお迎えを担当しているからだ。

残業せず退社することに職場は協力的だ。「期日を明確にするなどして仕事の効率も上がりました。だが育児は取らず、働く時間を短くする制度も使わなかった。社内で短時間制度を利用した人はまだいない。

「利用する人が増えるよう、会社をその気にさせる国の制度があれば」と思う。

男女共同参画の力点を握るのは、男性も育児などを積極的に担うように働き方を変えることや、職場や地域で環境を整えることだ。そのため基本計画は2000年から、5年に1度つくられ、各府庁や自治体が取り組む施策を定めている。

前回の第3次計画では、主な施策15分野のうち一つの分野を「男性、子ども」とし、労働、地域活動、男女間の暴力などの男性向けの施策をまとめて示していた。今回の計画案

は主な施策が「雇用等における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和」「女性に対するあらゆる暴力の根絶」など12分野に減り、「男性」の分野はなくなった。男性向けの施策は各分野に分散している。

市民グループ「男も女も育児時間を」連絡会事務局の松田正樹さん(52)によると、第3次計画をまとめ都道府県が作った計画では、14府県が「男性」に焦点をあてた項目を

設けていた。松田さんは「共同参画が進まないのは、男性の意識や行動が変わらないことが根本にある。国の計画から男性に力点を置いた分野が消えると、自治体にも影響を与え、男性向けの取り組みが弱まりかねない」と心配する。

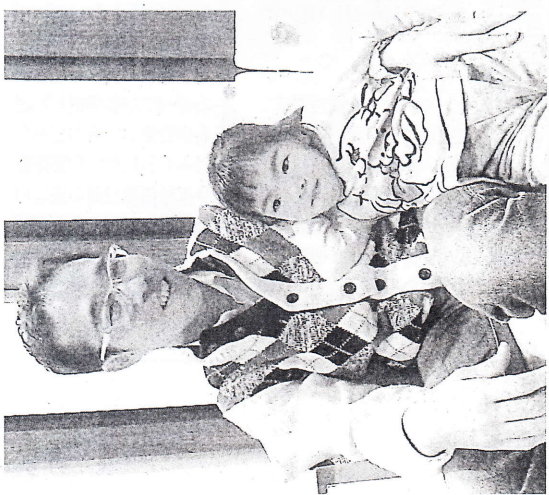
こうした声に、内閣府男女共同参画局の伊藤誠一調査課長は、計画案の冒頭に「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」を掲げたことを挙げ、「これを最重要の課題として取り組む決意を示した。『男性』の視点が薄まったとは考えていない」と説明する。

### 実施監視していく仕組みを

自治体では「男女共同参画」の名称を担当の部署からなくす動きもある。東京都北区は来年度から、男女共同参画推進課を教育委員会に移し、「男女いきいき推進課」に変える予定だ。担当者は「子どもと関係の深い組織を教委にまとめる。名称は国の『活躍』方針に合わせ、区民一人一人が活躍してほしいという意味を込めた」と説明する。

男女共同参画基本法ができて今年で16年だが、世界経済フォーラムの男女格差指数で日本は101位と

女性の地位は低迷したままだ。ジェンダー問題に詳しく早稲田大学非常勤講師の皆川満寿美さんは、第3次計画にあった「男性に対する相談体制の確立」が施策の一覧から消えるなど「男性の生きづらさ」への取り組みが見えにくくなったと指摘。これまでの目標がなぜ達成できなかったかの分析がない。いま挙げられている施策で長時間労働などが解消されるかも疑問。計画の実施をきちんと監視していく仕組みが必要だ」と話している。(編集委員・林美子)



休日に長女と過ごす富田昇平さん(さいたま市)

#### 「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」

- 主な施策
  - <長時間労働の削減>
    - ・月60時間を超える残業についての割増賃金率(50%以上)を、大企業だけでなく中小企業にも適用する(現在は25%)
    - ・労使の意見などを踏まえ、必要に応じて時間外労働の上限規制や、仕事が終わってから次の出勤まで一定以上の休憩時間を設ける規制の導入などを検討する
  - <育児や家事への男性の参加>
    - ・育児などを理由に企業が男性に不利益な取り扱いをしない場合は国が是正指導をする
  - <男女間格差の是正>
    - ・固定的な性別役割分担の意識をなくし女性が活躍しやすくなるよう、女性活躍推進法の3年後の見直しを積極的に検討する
- 主な成果目標
 

項目	現状	成果目標(2020年)
週60時間以上働く労働者の割合	男性12.9% 女性2.8%(2014年)	5%
民間企業の男性の育児休業取得率	2.3%(2014年)	13%
妻の出産直後の夫の休業取得率	(データなし)	80%
6歳未満の子どもを持つ夫婦の育児・家事などの時間(1日あたり)	67分(2011年)	2時間30分